

AVN-LS02 / AVN-LS02W

取付説明書

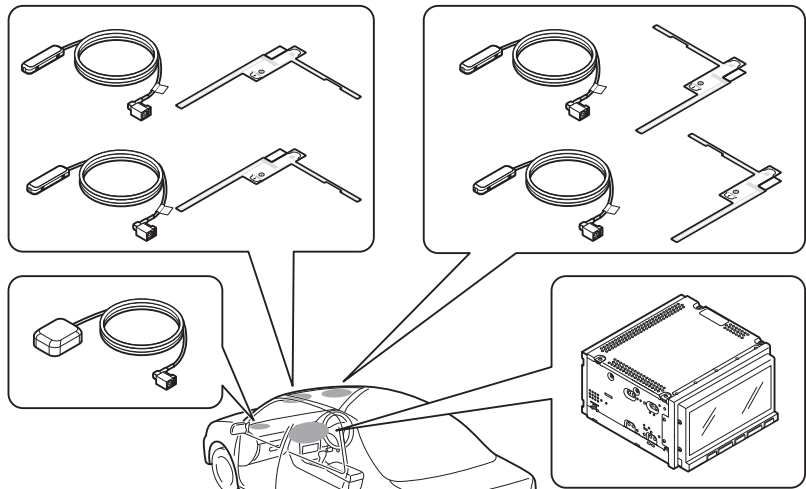
お客様へのお願い

- 取り付けおよび接続を行う前に、必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しく作業を行ってください。
- 指定以外の取付方法や指定以外の部品を使用すると、事故やケガの原因となる場合があります。
- 本機の取り付けには、専門技術と経験が必要です。お買い上げの販売店での取り付けをお薦めします。
- 安全運転のため、ご使用の前に「取扱説明書」、「取付説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使ください。
- 「取扱説明書」、「取付説明書」をお読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

一販売店様へー

取り付け、接続作業が完了しましたら、この取付説明書をお客様へお渡しください。

取付概要図



安全に正しくお使いいただくために

お客様や他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の表示をしています。その表示と内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告

この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意

この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

⚠: しなければならないことを表しています。

⚠: 注意をしなければならないことを表しています。

- 本機取り付けのために必ず守っていただきたいこと、知っておくと便利なことを下記の表示で記載しています。

アドバイス この表示は、本機の故障や破損を防ぐために守っていただきたいこと、知っておくと便利なこと、知っておいていただきたい内容を示しています。

警告

● 本機は DC12V (カー) 専用です。大型トラックや寒冷地仕様車のディーゼル車等の 24V 車での使用はしないでください。火災の原因となります。

● 取り付け作業前には、必ずバッテリーのマイナス端子をはずしてください。

● 本機を次のような場所には取り付けしないでください。本機を、前方の視界を妨げる場所や、ステアリング、シフトレバー、ブレーキペダル等の運転操作を妨げる場所や運転中に接触をきたす場所、同乗者に危害を及ぼす場所等には絶対に取り付けしないでください。交通事故やケガの原因となります。

● 車体に穴をあけて取り付けする場合は、注意して作業を行ってください。車体に穴をあけて取り付けする場合は、パイプ類、電線配線等の位置を確認の上、これらと干渉や接触することがないように注意して行ってください。火災の原因となります。

● 雨や雪などで作業をする場合は、ゴーグル等の目を保護するものを使用してください。

● 雨や雪などで作業をする場合は、ゴーグル等の目を保護するものを使用してください。

● 車体のボルトやナットを使用して機器の取り付けやアースを取る場合は、ステアリング、ブレーキ系統やタンク等の保安部品のボルト、ナットは絶対に使用しないでください。保安部品を使用すると、制動能力や発火、事故の原因となります。

● 本機を分解したり、改造しないでください。

● ヒューズを交換するときは、必ず規定容量（アンペア数）のヒューズを使用してください。

● 規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。

● 画面がない、音が出ない等の故障状態で使用しないでください。そのまま使用すると、事故、火災、感電の原因となります。

● 万一、異物が入った、水がかかった、煙りが出る、変な匂いがする等の異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店に相談してください。

● そのま使用すると、事故、火災、感電の原因となります。

● エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に本機の取り付けと配線をしてください。

● 車両メーカーに作業上の注意事項を確認してから作業を行ってください。エアバッグの動作を妨げる場所には絶対に取り付けしないでください。交通事故の際、エアバッグシステムが正常に動作しないため、ケガの原因となります。

● 電源コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対に止めてください。

● 電源コードの電流容量がオーバーし、火災、感電の原因となります。

● 接続したコードや使用しないコードの先端等、被覆がない部分は絶縁性テープ等で被覆してください。

● ショートにより火災、感電の原因となります。

● コード類は、運転操作の妨げとならないよう、テープ等でまとめおいてください。

● ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダル等に巻きつく事故の原因となり得ます。

警告

● 必ず付属の部品を指定通り使用してください。指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品を損傷したり、しめりや固定できずに外れることがあり危険です。

● 車体の穴の部分、シートレール等の可動部にコード類をはさみ込まないように配線してください。

● 雨や雪などで作業をする場合は、ゴーグル等の目を保護するものを使用してください。

● 雨や雪などで作業をする場合は、ゴーグル等の目を保護するものを使用してください。

● 車体のボルトやナットを使用して機器の取り付けやアースを取る場合は、ステアリング、ブレーキ系統やタンク等の保安部品のボルト、ナットは絶対に使用しないでください。

● 保安部品を使用すると、制動能力や発火、事故の原因となります。

● 本機を分解したり、改造しないでください。

● ヒューズを交換するときは、必ず規定容量（アンペア数）のヒューズを使用してください。

● 規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。

● 画面がない、音が出ない等の故障状態で使用しないでください。そのまま使用すると、事故、火災、感電の原因となります。

● 万一、異物が入った、水がかかった、煙りが出る、変な匂いがする等の異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店に相談してください。

● そのま使用すると、事故、火災、感電の原因となります。

● エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に本機の取り付けと配線をしてください。

● 車両メーカーに作業上の注意事項を確認してから作業を行ってください。エアバッグの動作を妨げる場所には絶対に取り付けしないでください。交通事故の際、エアバッグシステムが正常に動作しないため、ケガの原因となります。

● 電源コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対に止めてください。

● 電源コードの電流容量がオーバーし、火災、感電の原因となります。

● 接続したコードや使用しないコードの先端等、被覆がない部分は絶縁性テープ等で被覆してください。

● ショートにより火災、感電の原因となります。

● コード類は、運転操作の妨げとならないよう、テープ等でまとめおいてください。

● ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダル等に巻きつく事故の原因となり得ます。

構成部品

作業前に構成部品が揃っているか、汚れや傷がないか確認してください。

● 本体関係

① メインユニット AVN-LS02	④ メインユニット AVN-LS02W	② 電源コード
③ 中継コード	④ 車両信号コード	⑥ AUXコード
⑤ バックカメラコード	⑦ ハンズフリーマイク	⑧ 地図専用microSDカード
⑨ B-CASカード	⑩ 取り付けねじ (M5×6)	⑪ ショートコネクタ
× 1	× 1	× 1
× 1	× 1	× 1
× 1	× 1	× 1
× 1	× 8	× 6

● アンテナ関係

⑫ フィルムアンテナ (左側: ⑬表示)	⑬ フィルムアンテナ (右側: ⑭表示)	⑯ GPSアンテナ
⑮ アンテナコード(タグ: ①, ②)	⑮ アンテナコード(タグ: ③, ④)	⑰ アースプレート
⑱ クランパー	⑱ クランパー	× 1
× 1	× 1	× 1
× 1	× 3	× 1
× 2	× 3	× 1

地図専用microSDカードは、メインユニットにあらかじめ挿入されています。

その他の構成部品(取扱説明書、取付説明書、保証書等の資料類)

作業の進め方

- 1) 構成部品を確認する (☞ 構成部品)
- 2) バッテリーの端子を外す
- 3) 接続を確認する
- 4) GPS アンテナを取り付ける
- 5) フィルムアンテナを貼り付ける
- 6) コードを配線する
- 7) ハンズフリーマイクを貼り付ける
- 8) メインユニットを取り付ける
- 9) バッテリーの端子を元に戻す
- 10) 設定および作動確認をする (☞ 取り付け後の設定 / 作動確認)

GPSアンテナの取り付けおよびフィルムアンテナ貼り付け上のご注意

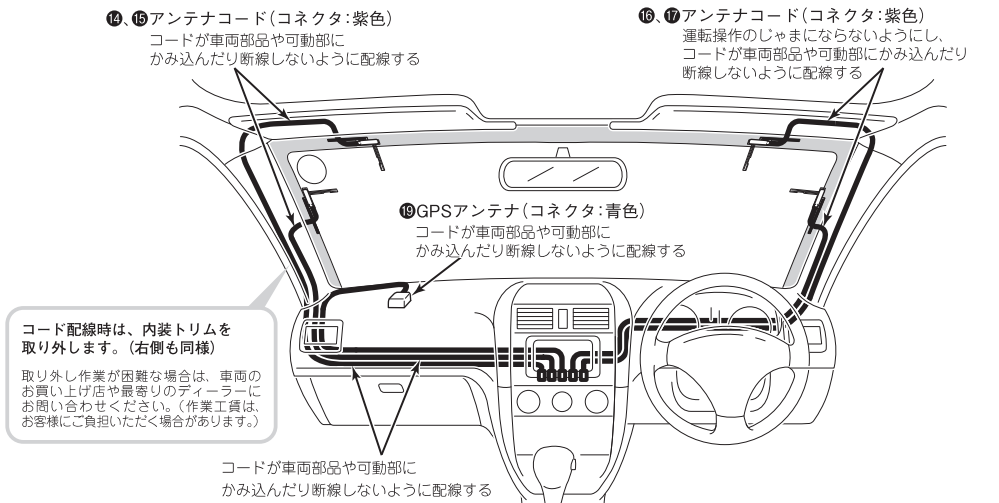
⚠ 注意

- GPS アンテナは車室内専用です。法規制に抵触するため車室外への取り付けはしないでください。
- GPS アンテナを取り外す場合、アンテナ本体を持って取り外してください。コードを持って引っ張ると断線等により故障の原因となる場合があります。
- GPS アンテナに付いている磁石は大変強力です。アンテナを取り付けるときは以下の点に注意してください。
 - ＊時計や磁気カード等に近付けないでください。時計や磁気カードが故障したり使用できなくなる恐れがあります。
- フィルムアンテナは、一度貼り付けたら貼り直しできません。貼付位置を確認して慎重に作業を行ってください。
- 取付説明書の指示通りに作業されない場合、保安基準適合品として認められないことがあります。
- 必ず指示通りに取り付けてください。
- フィルムアンテナは、繊細な構造になっております。折り曲げたり、傷をつけないよう慎重にお取り扱いください。
- フィルムアンテナをアルコール、ベンジン、シンナー、ガソリン等の揮発性液体を使用して拭かないでください。
- 車両に装着されているカメラ、センサー類の検知範囲内にはフィルムアンテナを貼ることはできません。詳しくはディーラー等にご相談ください。
- カーウィンドフィルムの上からフィルムアンテナを貼った場合、フィルムアンテナをはがす際にカーウィンドフィルムを傷めることがあります。

ⓘ アドバイス

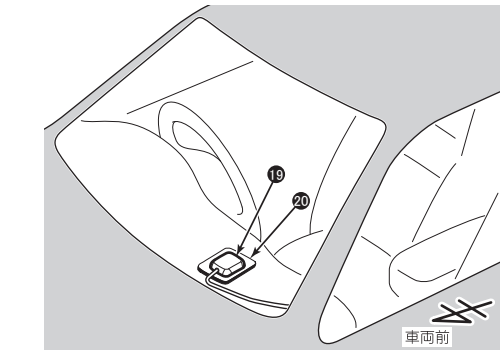
- 取付位置・貼付位置表面の汚れ、水分、油分などをよく拭きとってから取り付けてください。
- GPS アンテナを塗装しないでください。アンテナの受信感度が落ちる場合があります。
- ラジオ放送の音に妨害を与えることがありますので、GPS アンテナコードは、ラジオアンテナやラジオアンテナコードからできるだけ離して取り付けてください。
- 次のような場合、電波の受信性能が低下したり、電波を受信できないことがあります。
 - ＊指定位置や寸法を守らずに貼り付けた場合
 - ＊フロントガラスに内蔵されているアンテナに重ねて貼り付けた場合
 - ＊特殊なフロントガラスやフィルム（ミラータイプ、熱線反射タイプや熱線吸収タイプ等）を使用している場合
 - ＊車内または車両周辺にテレビ受信の妨げとなるような電磁波を発する機器がある場合
- 次のような場合、テレビの映像や音声が乱れることがありますので、故障ではありません。
 - ＊ワイパーやエアコンを動作させた場合
 - ＊電波塔のすぐ近くや、山陰や電波塔から遠いところ等、電波状況の悪い場所にいるとき
 - ＊気温が低い（20℃以下）時やガラスが曇ってしまう時は、フィルムアンテナの粘着力が低下します。車内ヒーターやデフロスタースイッチを ON にしてフロントガラスを温めてから貼り付けてください。
 - 左ハンドルの場合も、フィルムアンテナの貼付位置は変わりません。

GPSアンテナ・フィルムアンテナ取付概要図

コードが車両部品や可動部に
かみ込んだり断線しないように配線する

GPSアンテナの取り付け

1 ⑩ GPS アンテナの貼付位置を決める

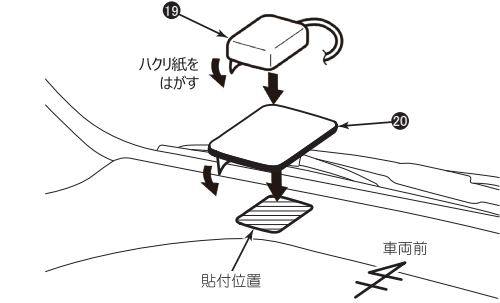


- ① ⑩GPSアンテナおよび⑪アースプレートがしっかりと固定できる場所を選び、貼付位置を決める。

ⓘ アドバイス

- GPS アンテナは、電波の通れにくい、平らな場所に貼り付けてください。推奨する貼付位置はダッシュボードの左側です。

2 ⑬ GPSアンテナと⑭アースプレートを貼り付ける



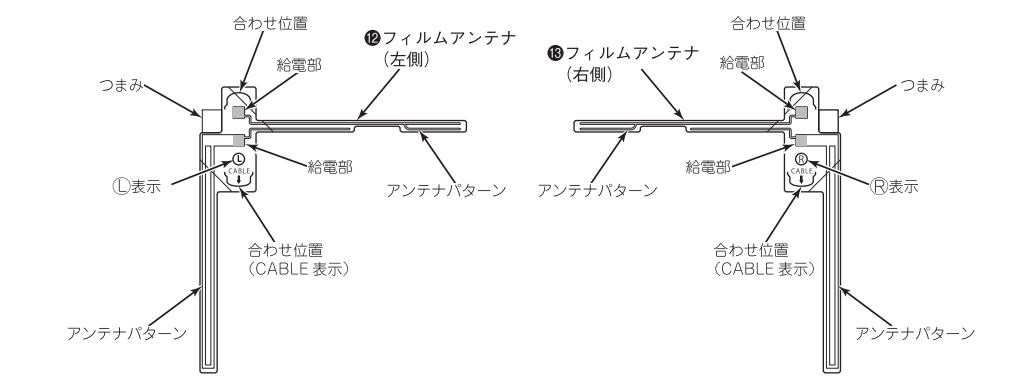
- ① ⑪アースプレートのハクリ紙をはがす。
- ② ダッシュボードに⑪アースプレートを貼り付ける。
- ③ ⑩GPSアンテナのハクリ紙をはがす。
- ④ ⑪アースプレートに⑩GPSアンテナを貼り付ける。

ⓘ アドバイス

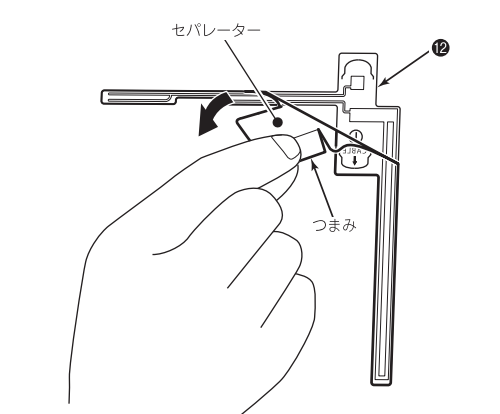
- ⑩GPS アンテナを貼り付ける際、貼付位置表面の汚れ、水分、油分を十分ふき取ってください。

フィルムアンテナの貼り付け

フィルムアンテナについて



2 ⑬、⑭フィルムアンテナのセパレーターをはがす



- ① つまみを持ち、⑭フィルムアンテナ裏側のセパレーターを図の位置までがす。

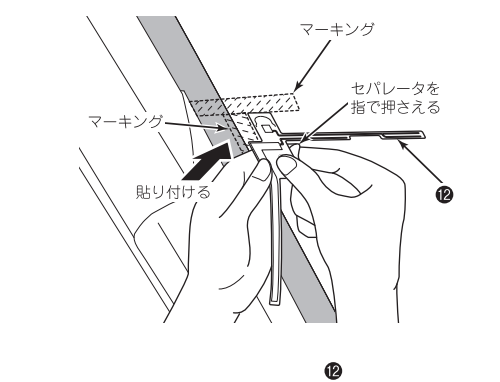
⚠ 注意

- セパレーターはすべてはがさないでください。

ⓘ アドバイス

- 図は左側を表しています。右側も同様に作業を行ってください。

3 ⑬、⑭フィルムアンテナをフロントガラスに貼り付ける



- ① 左図に従い、⑭フィルムアンテナの粘着面をフロントガラスのマーキングに合わせる。
- ② ⑭フィルムアンテナの粘着面を押さえながら、⑭フィルムアンテナのセパレータを少しずつはがし、粘着面をフロントガラスに貼り付ける。

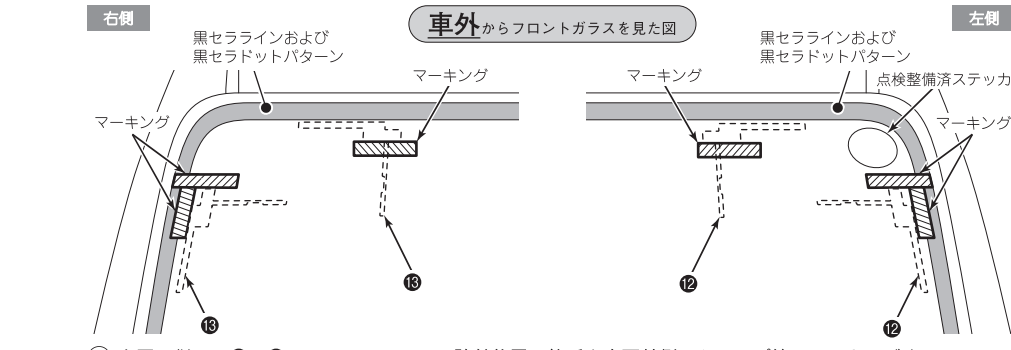
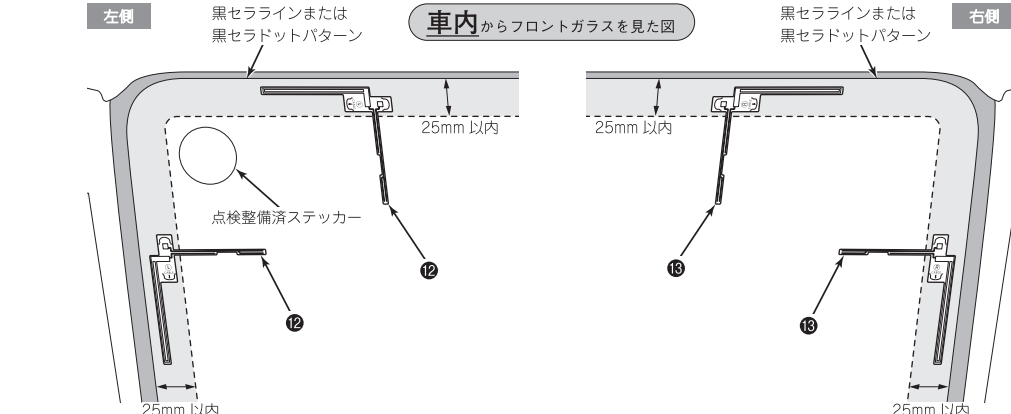
⚠ 注意

- 粘着力が低下するため、⑭、⑭フィルムアンテナを貼り直さないでください。
- 粘着面を貼り付ける際、手が粘着面の粘着面や、貼付位置にふれないように注意してください。
- ⑭、⑭フィルムアンテナにシワがつかないように注意して貼り付けてください。

ⓘ アドバイス

- アンテナパターンがフィルムシートから浮かないようにセパレータはゆっくりとはがしてください。
- セパレータを少しずつはがしながら⑭、⑭フィルムアンテナをフロントガラスに貼り付けてください。
- セパレータ側にアンテナパターンが残った場合は、セパレータを元に戻し、アンテナパターン部をこすってから再度セパレータを折り返すようにしてはがしてください。
- 図は左側を表しています。右側も同様に作業を行ってください。

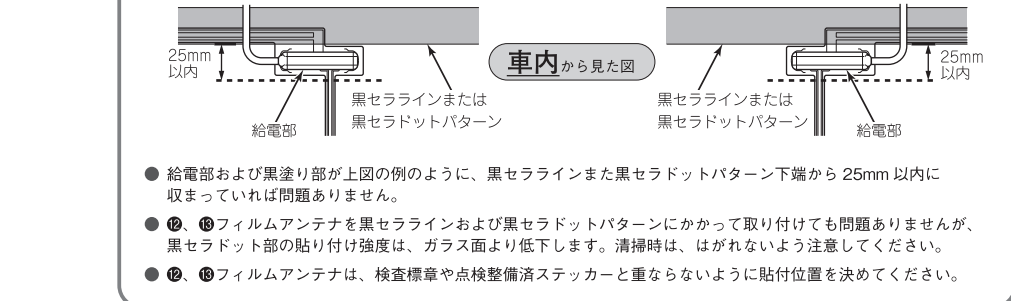
1 ⑬、⑭フィルムアンテナの貼付位置を決める



- ① 上図に従い、⑭、⑭フィルムアンテナの貼付位置4箇所を車両外側からテープ等でマーキングする。

⚠ 注意

- 国土交通省の定める保安基準に適合させるため、給電部が黒セラライン※1または黒セラドットパターン※2から25mm以内に収まるよう貼り付けてください。



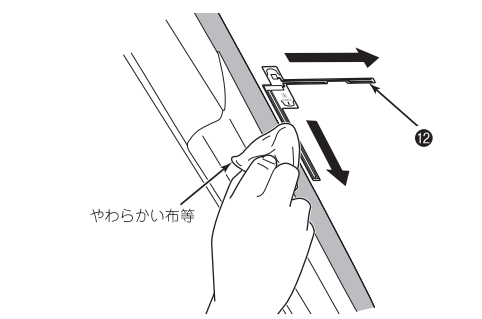
- 給電部および風送り部が上図の例のように、黒セララインまたは黒セラドットパターン下端から25mm以内に収まっていれば問題ありません。
- ⑭、⑭フィルムアンテナを黒セララインおよび黒セラドットパターンにかかって取り付けでも問題ありませんが、黒セラドット部の貼り付け強度は、ガラス面より低下します。清掃時は、はがれないよう注意してください。
- ⑭、⑭フィルムアンテナは、検査標章や点検整備済ステッカーと重ならないように貼付位置を決めてください。

- ※1 黒セラライン: 黒色セラミックラインの略。フロントガラス端の黒い色部分。
- ※2 黒セラドットパターン: 黒色セラミックドットパターンの略。フロントガラス端の黒色のドット(点々)部分。

ⓘ アドバイス

- 貼付位置に障害物等がないことを確認してください。
- テープはフロントガラスに跡が残らないもの（ビニールテープ等）を使用してください。
- フィルムアンテナ貼付位置の汚れ、水分、油分をクリーナー等でよくふき取ってください。

4 アンテナパターン部を定着させる



- ① ⑭フィルムアンテナのアンテナパターン部をやわらかい布等でこすってガラス面に定着させる。

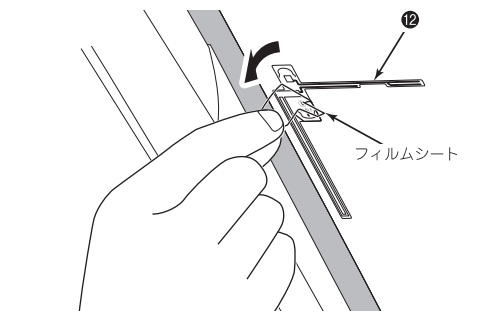
⚠ 注意

- アンテナパターン部をこする際は、ヘラ等固いものを使用しないでください。アンテナパターン部の破損の原因となります。
- アンテナパターンを布等で押さえる際、シワや傷がつかないように注意してください。

ⓘ アドバイス

- 図は左側を表しています。右側も同様に作業を行ってください。

5 フィルムシートをはがす



- ① ⑭フィルムアンテナのフィルムシートをはがす。

⚠ 注意

- フィルムシートをはがす際、給電部に傷がつかないように注意してください。

ⓘ アドバイス

- 図は左側を表しています。右側も同様に作業を行ってください。

6 給電部に⑭、⑮、⑯、⑰アンテナコードのアンプホルダーを貼り付ける

① アドバイス

- ⑯、⑮フィルムアンテナに⑭、⑮、⑯、⑰アンテナコードのアンプホルダーとアンプケースを取り付けます。

アンプケース
アンプホルダー
タグ
左側 ⑮: ①表示
⑮: ②表示
右側 ⑮: ③表示
⑮: ④表示

① アンプホルダーのハクリ紙をはがす
② 給電部にアンプホルダーを貼り付ける。

② アドバイス

- フィルムアンテナの給電部にアンプホルダーの穴を合わせてください。
- 合わせ位置 (CABLE 側) にアンプケースのコード側がくるようにアンプホルダーを貼り付けてください。

① アンプホルダーの穴から給電部が見えることを確認してください。
② 図は左側を表しています。右側も同様に作業を行ってください。

7 アンプホルダーにアンプケースを組み付ける

① アンプホルダーのツメA部にアンプケースを合わせてください。
② アンプケースのツメB部をアンプホルダーに合わせてください。

③ アドバイス

- ツメB部で固定する際、アンプケースは「カチッ」と音が鳴るまでしっかりと押し込んでください。
- 図は左側を表しています。右側も同様に作業を行ってください。

アンプケース
アンプホルダー
ツメB部
ツメA部

● ハンズフリーマイクの貼り付け(例)

1 ⑦ハンズフリーマイクを貼り付ける

① ⑦ハンズフリーマイクのハクリ紙をはがす。
② ステアリングコラムカバーの中心に⑦ハンズフリーマイクを貼り付ける。

③ アドバイス

- ⑦ハンズフリーマイクを貼り付ける際、貼付位置表面の汚れ、水分、油分を十分ふき取ってください。
- チルト・テレスコピック時、⑦ハンズフリーマイクが車両部品と接触しない位置に貼り付けてください。

マイク貼付位置
車間前
ステアリングコラムカバー中心

2 コードを配線する

① ⑦ハンズフリーマイクのコードを市販のクランパー等で固定しながらメインユニット取付位置まで配線する。

⚠ 警告

- コードは、運転操作の妨げとならないよう、市販のクランパー等で固定してください。ステアリングやシフトレバー等に巻き付くと事故の原因となり危険です。

市販のクランパー等
車間前

8 ⑱GPSアンテナコード、⑲、⑳、㉑アンテナコードを配線する

① ⑱アンテナコードをルーファイニング内に収める。

② アドバイス

- ルーフライニングを少し下げて⑱アンテナコードを挿入してください。
- ⑱アンテナコードがルーファイニングからはみ出す場合は、市販のハーネス固定テープを巻きつけてルーファイニング内に収めてください。
- フロントピラトリムに⑲アンテナコードがかみ込む場合は、フロントピラトリムを切り欠けください。
- 図は、⑲アンテナコードの配線を表しています。⑳および㉑も同様に作業を行ってください。

⚠ 注意

- ルーフライニングに無理な力を加えて折り曲げられないよう注意してください。
- ⑲アンテナコードを強く引っばったり、ストレスやかみ込み等がないようにしてください。

③ アドバイス

- ⑳GPSアンテナコードは、ダッシュボード奥にコードを押し込みながら配線してください。

⚠ 警告

- ⑲GPSアンテナコードおよび⑲、⑳、㉑アンテナコードを⑱クランパーおよび市販のハーネス固定テープ等で固定しながらメインユニット取付位置まで配線する。
- コード類は、運転操作の妨げとならないよう、市販のハーネス固定テープでまとめてください。ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダル等に巻き付くと事故の原因となり危険です。

市販のハーネス固定テープ等
車間前
エッジ部分を市販のハーネス固定テープ等で保護する

● メインユニットの取り付け

1 車両のオーディオ、小物入れを取り外す

① 車両のオーディオ、小物入れ等を取り外す。
② オーディオ、小物入れ等を取り付けているブラケットを取り外す。
③ メインユニットにブラケットを取り付ける。

④ アドバイス

- 車両メーカーに応じてブラケット取付穴を選んでください。車種別の情報はイクリプス web サイト お客様サポート内の「ジャストフィットガイド」(https://www.denso-ten.com/jp/ecclipse/support/justfitguide/) をご確認ください。

ブラケット (R)
ブラケット (L)
①または②は市販の皿ねじ

2 ①メインユニットを車両に取り付ける

① ①メインユニットに各コードを接続する。
② ①メインユニットを車両に取り付ける。

③ お願い

- センターコンソールの形状によっては、シフトレバー等に接続する場合があります。詳しくは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
- 取付角度が大きな取付状態となる場合は、自車位置スレーやディスプレイの出し入れ等が正常にできない場合がありますので、できるだけ水平に対して、35°以内の角度で取付付けてください。
- ディスプレイを手で押さえないでください。
- バネル保護シートはメインユニットを車両に取り付けた後、操作する前に取り外してください。取り付ける前に外すとディスプレイに傷を付ける恐れがあります。

車間取付ボルト
車間前
前面部
35°以内(取付角度)
水平(基準)
6mm
6mm
パネル保護シート

● 接続のしかた

注意

- 車両信号の取り出しには必ず付属のショートコネクタを使用してください。指定外のショートコネクタを使用すると接続不良の原因になります。
- 接続しない端子等は、ヒューズテープ等で絶縁処理をしてください。
- 接続コードを本体に接続する前にアースコードを車両内に必ず接続してください。
- スピーカ端子や配線がショートしている場合、故障の原因となります。
- スピーカ出力端子と電源/アース端子を絶対に接続しないでください。故障の原因となります。
- フィルムアンテナおよびアンテナコードは、本製品に同梱のものを使用してください。同梱品以外のものを使用すると、受信性能が低下する場合があります。

③ アドバイス

- 車両電源ハーネスとの接続には別売の車種別変換コードが必要です。詳しくは、お買い上げの販売店や自動車ディーラーにお問い合わせください。接続可能な外部機器、およびコードについては、イクリプス web サイト内の「お客様サポート」(https://www.denso-ten.com/jp/ecclipse/support/) をご確認ください。
- 車両信号の取り出し位置は、車種やグレードにより異なります。
- 詳しくは、お買い上げの販売店または自動車ディーラーにお問い合わせください。
- ステアリングスイッチの接続先および適合情報については、イクリプスの Web サイト内「お客様サポート」(https://www.denso-ten.com/jp/ecclipse/support/) をご確認ください。

①フィルムアンテナ(左側)
②フィルムアンテナ(右側)
③アンテナコード
④アンテナコード
⑤GPSアンテナ
⑥ハンズフリーマイク
⑦メインユニット
⑧1P(青色)
⑨1P(青色)
⑩1P(青色)
⑪1P(青色)
⑫1P(青色)
⑬1P(青色)
⑭1P(青色)
⑮1P(青色)
⑯1P(青色)
⑰1P(青色)
⑱1P(青色)
⑲1P(青色)
⑳1P(青色)
㉑1P(青色)
㉒1P(青色)
㉓1P(青色)
㉔1P(青色)
㉕1P(青色)
㉖1P(青色)
㉗1P(青色)
㉘1P(青色)
㉙1P(青色)
㉚1P(青色)
㉛1P(青色)
㉜1P(青色)
㉝1P(青色)
㉞1P(青色)
㉟1P(青色)
㊱1P(青色)
㊲1P(青色)
㊳1P(青色)
㊴1P(青色)
㊵1P(青色)
㊶1P(青色)
㊷1P(青色)
㊸1P(青色)
㊹1P(青色)
㊺1P(青色)
㊻1P(青色)
㊼1P(青色)
㊽1P(青色)
㊾1P(青色)
㊿1P(青色)

● システム接続例

接続する機器の取付説明書を確認して取り付けおよび配線を行ってからメインユニットに接続してください。

①メインユニット
②AUXコード
③映像出力端子(黄色)
④映像出力端子(黄色)
⑤映像出力端子(黄色)
⑥映像出力端子(黄色)
⑦映像出力端子(黄色)
⑧映像出力端子(黄色)
⑨映像出力端子(黄色)
⑩映像出力端子(黄色)
⑪映像出力端子(黄色)
⑫映像出力端子(黄色)
⑬映像出力端子(黄色)
⑭映像出力端子(黄色)
⑮映像出力端子(黄色)
⑯映像出力端子(黄色)
⑰映像出力端子(黄色)
⑱映像出力端子(黄色)
⑲映像出力端子(黄色)
⑳映像出力端子(黄色)
㉑映像出力端子(黄色)
㉒映像出力端子(黄色)
㉓映像出力端子(黄色)
㉔映像出力端子(黄色)
㉕映像出力端子(黄色)
㉖映像出力端子(黄色)
㉗映像出力端子(黄色)
㉘映像出力端子(黄色)
㉙映像出力端子(黄色)
㉚映像出力端子(黄色)
㉛映像出力端子(黄色)
㉜映像出力端子(黄色)
㉝映像出力端子(黄色)
㉞映像出力端子(黄色)
㉟映像出力端子(黄色)
㊱映像出力端子(黄色)
㊲映像出力端子(黄色)
㊳映像出力端子(黄色)
㊴映像出力端子(黄色)
㊵映像出力端子(黄色)
㊶映像出力端子(黄色)
㊷映像出力端子(黄色)
㊸映像出力端子(黄色)
㊹映像出力端子(黄色)
㊺映像出力端子(黄色)
㊻映像出力端子(黄色)
㊼映像出力端子(黄色)
㊽映像出力端子(黄色)
㊾映像出力端子(黄色)
㊿映像出力端子(黄色)

● 取り付け後の設定/作動確認

1 車両のエンジンをかけ、ナビゲーションを起動する

● ナビゲーションが起動するまで、ACC OFFやメインユニットの操作はしないでください。
● シフトポジションや周囲の安全を確かめてから車両のエンジンをかけてください。

エンジン
START

2 初期設定をする

③ お願い

- 本体や周辺機器の取扱説明書を参照し、初期設定を行ってください。

3 見通しの良い場所で各信号の接続状態を確認する

① パーキングブレーキがかかっている事を確認してから、本体前面 **現在地** ボタンを押す。
② **メニュー** をタッチする。
③ **ナビ情報** をタッチする。
④ **ナビ情報** をタッチする。
⑤ **GPSセンサー情報** をタッチし、それぞれの接続状態を確認する。

③ お願い

- GPS 受信感度しばらく経ってもGPS測位の表示が「未測位」から変わらないときは、GPSアンテナの接続状態を確認してください。
- 車速バルスGPS・センサ情報画面で走行すると車速/バルス信号の状態を確認することができます。走行中、バルス回数表示が「0回」から変わらないときは、車速/バルス信号の接続状態を確認してください。
- パーキング信号パーキングブレーキがかかっている場合、表示が「ON」に、パーキングブレーキがかかっていない場合、表示が「OFF」に変わります。表示が変わらないときは、パーキングブレーキ信号の接続状態を確認してください。
- リバース信号バックギア以外にシフトしている場合、表示が「OFF」に、バックギアにシフトしている場合、表示が「ON」に変わります。表示が変わらないときは、リバース信号の接続状態を確認してください。